

# 教育委員会 マネジメント方針

教育委員会では市長との政策協議のもと、次のとおり基本方針・組織目標・行動目標を定めました。この方針に基づき目標の達成に向け着実に取り組みます。

令和3年4月1日

教育長 吉川雄二  
教育部長 林俊宏

## 【基本方針】

人口減少・少子高齢化が急速に進展する中、これからも、すべての人が夢や希望を持って健やかに暮らすために、子どもから高齢者までの全市民が学習やスポーツに取り組めるよう、生きがいを持って暮らすことのできる環境を整備します。

また、子どもたちが生き生きと学校生活を送ることができるよう、学校教育の充実を図ります。併せて、地域の特性を考慮しながら、今後の本市としての学校のあり方について検討していきます。

さらに、本市の伝統行事や建造物、史跡などの豊かな歴史・文化に育まれた数多くの文化財の継承に努めるとともに、市民が安心して集い、学習できる図書館のリニューアルに取り組むことで、「みんなが学び成長するふくいの教育」の実現を目指します。

## 【組織目標】

- I. 児童生徒をきめ細かに支援し、子どもたちが生き生きと学校生活を送るための充実した学校教育を行います
- II. 学校における安全対策を充実し、食育と運動部活動、体力向上を推進して、子どもたちの心身の健全な発達に努めます
- III. 家庭や地域、関係機関・団体と連携し、青少年の健全育成を進めます
- IV. 安全で快適な学習環境を整えるために、施設の整備・改修を進めます
- V. 市民一人ひとりの自主的な学習活動を支援し、市民憲章運動を進めます
- VI. 生涯スポーツを推進し、市民の豊かなスポーツライフを支援します
- VII. 文化遺産を保存し継承するとともに、文化財の公開と活用を進めます

## 【行動目標】

**組織目標 I 児童生徒をきめ細かに支援し、子どもたちが生き生きと学校生活を送るための充実した学校教育を行います**

行動目標	SDGs 指標
<p><b>1 地域と連携した学校づくり</b></p> <p>一人ひとりの子どもの育ちを支えていくために、家庭・地域・学校協議会の開催や、教育活動の地域への公開、地域からゲストティーチャー等を迎えて学ぶ機会などを通して、家庭、地域、学校のつながりを強めるとともに、三者が一体となって子どもたちの教育について考え、行動する気運の醸成を図ります。</p> <p>また、地域と関わる学校の取組が、子どもの思いや考えと地域の願いが絡み合うものとなるように、家庭・地域・学校協議会で協議したり地域コーディネーターと連携して取り組みます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> IIII ゲストティーチャー・授業ボランティアの活用            : 全小中学校 1 学級当たり延べ 5 人 (元年度)            → 6 人 (2 年度) → 8 人 (3 年度)</p> </div>	<div style="text-align: center;">  <p>4 質の高い教育をみんなに</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div>
<p><b>2 学力充実のための教育活動</b></p> <p>全国トップクラスの小中学生の学力がさらに向上するように、一人ひとりの児童生徒に応じたきめ細かな指導を通して学ぶ意欲を引き出し、知識及び技能を活用して思考力・判断力・表現力を育み「確かな学力」の育成を図ります。</p> <p>また、「地域に根ざす『学びの一貫性』」を目指して、中学校区ごとに目指す子どもの姿を共有し、園小中連携(※1)の充実に取り組みます。</p> <p>さらに、教職員力量向上研修(※2)を実施し、教育の専門職としての力量を高めます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>他校(園を含む)への授業公開の実践            : 全小中学校 1 校当たり 5 回 (元年度) → 2 回 (2 年度) → 3 回 (3 年度)</p> <p>中学校区単位での研究会・研修会・連絡会            : 全小中学校 1 校当たり 12 回 (元年度)            → 15 回 (2 年度・オンライン含む) → 15 回 (3 年度・オンライン含む)</p> <p>教職員力量向上研修(※2)の受講: 全教職員</p> </div> <p>※1 園小中連携の例            小学校と小学校区内の公私立幼稚園・保育園・認定こども園            中学校と中学校区内の小学校</p> <p>※2 教職員力量向上研修            本市の教職員一人ひとりが自己の資質・能力の向上のために自主的に計画し参加する研修            市教委主催のみならず、県教委や研究所の研修等も含む。市教委主催の研修としては、「目的別研修」「校務別研修」等、教職員員の力量向上に必要な研修を設定する。</p>	<div style="text-align: center;">  <p>4 質の高い教育をみんなに</p> </div>

行動目標	SDGs 指標
<p><b>3 豊かな心の育成</b></p> <p>道徳教育や人権教育の充実を図るとともに、次代を担う子どもたちが社会の一員としての自覚を持つために、人や自然との触れ合い、幼児演劇鑑賞教室や国際交流作品展などの文化芸術の鑑賞などの様々な体験、読書活動の推進などを通して豊かな心を育てます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>幼児演劇教室の開催 : 中止(2年度) → 2日間で3回公演(3年度) (公私立幼稚園・公私立保育園・認定こども園5歳児対象)</p> <p>国際交流作品展の開催 : 中止(2年度) → 11月19日(金)～11月23日(火)までの5日間(3年度) (杭州市、水原市、フラトン市、ニューブランズウィック市、熊本市、結城市との作品交流)</p> </div>	
<p><b>4 幼児教育の推進</b></p> <p>全小学校で行う「わくわく交流デー(※1)」やスタートカリキュラム(※2)を通して、保育園や幼稚園及び認定こども園における教育の成果が小学校に円滑に接続されるようにします。</p> <p>また、小学校区ごとに行われる園小接続会議や公立こども園への園訪問を通して、小学校教員が、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等の幼児期の子どもの育ちを理解して小学校教育に接続できるようにしたり、保育者が子どもの多様な「遊びの中の学び」の姿を大切にして、遊びを通じた総合的な指導や一人ひとりの特性に応じた指導に生かせるようにしたりします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>わくわく交流デーの開催とスタートカリキュラムに関する会議：全小学校</p> </div> <p>※1 わくわく交流デー 5歳児を対象に、小学校入学前の2月に実施している小学校一日体験</p> <p>※2 スタートカリキュラム 小学校入学期において、幼児期に育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるように、教科等を関連させて指導したり弾力的な時間割を設定したりするなどの工夫を、指導計画等に表示して実践する取組の総称</p>	

行動目標	SDGs 指標
<p><b>5 特別支援教育の推進</b></p> <p>各小中学校の特別支援教育コーディネーター(※1)対象に福井市特別支援教育地区別協議会(※2)を開催し、特別支援教育(※3)体制の整備に努め、各保育園、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校間の円滑な移行支援を図ります。</p> <p>また、障がい児の就学や支援について、教育支援委員会(※4)を設置して就学相談及び教育相談を行います。</p> <p>さらに、いきいきサポーター(※5)を小中学校に配置し、発達障がい等で配慮が必要な児童生徒に個別の支援を行います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>特別支援教育コーディネーターの配置 : 全小中学校 教育支援委員会の開催 : 8回(元年度)→4回(2年度)→7回(3年度)</p> <p>◎107 いきいきサポーターの配置 : 85人(元年度)→85人(2年度)→84人(3年度)</p> </div> <p>※1 特別支援教育コーディネーター 特別支援教育を進める上で、学校において、保護者や関係機関に対する窓口、保護者を含めた学校内外の関係者や福祉、医療、特別支援学校等の関係機関との連携・協力のための調整、校内委員会の推進などの役割を担う教員</p> <p>※2 福井市特別支援教育地区別協議会 市をブロックに分けて、特別支援教育コーディネーター(※3)と専門家がそれぞれブロック内の学校の特別支援教育の体制づくりを検討する会</p> <p>※3 特別支援教育 障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けて、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、持てる力を高め生活や学習上の困難を改善又は克服するために適切な教育や指導を通して必要な支援を行うもの</p> <p>※4 教育支援委員会 障がい等のある児童生徒に対して、就学先の決定だけでなく、早期から一貫した支援について助言を行う機関(教育委員会に設置)</p> <p>※5 いきいきサポーター 発達障がいなどの傾向があり、集団での活動が苦手な児童生徒に対して、学習支援や生活指導、学校生活に関わる諸問題の指導支援を行う会計年度任用職員</p>	 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>



行動目標	SDGs 指標
<p><b>8 情報教育と教育の情報化の推進</b></p> <p>ICT（※1）を活用した教育を推進するために、ICT環境の整備を進めるとともに、GIGAスクールサポーター（※2）を学校に配置し、現場でのトラブルに対応することで、児童生徒や教員の情報活用能力の向上や事務の効率化を図ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>GIGAスクール構想（※3）に基づく、1人1台の端末を活用した授業の公開  <span style="float: right;">： 全小中学校</span></p> <p>小学校5年生全学級でのプログラミング授業（※4）の実施： 全小学校</p> </div> <p>※1 ICT（Information&amp;Communication(s) Technology）  コンピュータやネットワークに関連する諸分野における技術・産業・設備・サービスなどの総称で「情報通信技術」のこと。</p> <p>※2 GIGA（Global and Innovation Gateway for All）スクールサポーター  急速な学校ICT化を進める自治体を支援するため、学校におけるICT環境整備や使用マニュアルの作成などを行うICT技術者を学校へ配置する事業</p> <p>※3 GIGAスクール構想  1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで多様な子どもたち一人ひとりに個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現することを目指す国が打ち出した政策</p> <p>※4 プログラミング教育  児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動。本市では、平成30年度に教材を一括購入し、実際にプログラミングによってものや映像を動かす体験を、全5年生で5時間実施している。</p>	<div style="text-align: center;">  <p>4 質の高い教育を みんなに</p> </div>

行動目標	SDGs 指標
<p><b>9 キャリア教育の推進</b></p> <p>児童生徒が夢や希望を持ち、将来社会人として自立することができるようキャリア教育を推進します。その中で、福井市キャリア教育プログラム（※1）や小学校の社会見学・職場見学、中学校で福井市キャリア教育プロジェクト（※2）を実施します。また、児童生徒のキャリア教育を支援するために、福井市キャリア教育連絡協議会（※3）を開催します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>⑩ 106 福井市キャリア教育プログラムを活用した学級の割合        : 99%（元年度）→82%（2年度）→100%（3年度）</p> <p>小学校の社会見学・職場見学の実施        : 全小学校 1校当たり4日（元年度）→3日（2年度）→3日（3年度）</p> <p>中学校のキャリア教育プロジェクトの実施        : 20校（元年度）→18校（2年度）→全中学校（3年度）</p> </div> <p>※1 福井市キャリア教育プログラム        学校の教科の学習内容と地域の企業の人づくり・ものづくりの技術を結び付けた教育プログラムで、企業の社員等を地域の教育支援者として学校に招き、教員と一緒に授業を行う。</p> <p>※2 福井市キャリア教育プロジェクト        これまでの職場体験学習の内容をさらに充実させた提案型の職場体験学習の実現を目指し、職場体験学習と福井市キャリア教育プログラム、女性活躍促進課作成の教材「夢への招待状」を関連づけて、系統的にキャリア教育を行うプロジェクト。</p> <p>※3 福井市キャリア教育連絡協議会        市内経済団体（福井商工会議所青年部、福井青年会議所、ふくい担い手づくりプロジェクト）、認定資格を有するキャリア教育コーディネーター、小中学校長、しごと支援課、女性活躍促進課と教育委員会が連携し、児童生徒のキャリア教育を支援するための組織</p>	<p>SDGs 指標</p> <div style="text-align: center;">  <p>4 質の高い教育を みんなに</p> </div>



行動目標	SDGs 指標
<p><b>11 楽しくおいしい学校給食の実施</b></p> <p>地場産食材の使用や和食の推進を図り、「ふくい」の食を取り入れながら、子どもたちに安全・安心でおいしい給食を提供します。</p> <p>「東京オリンピック・パラリンピック」の開催を記念して、世界各国の代表的な料理を給食献立に取り入れ、児童生徒がその国の特徴や食文化を理解できるようにします。また、栄養教諭・学校栄養職員と教職員が連携し、学校給食や様々な活動を通して食育を推進します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>⑦⑦ 福井市産農産物使用品目数 ：25 品目（元年度）→ 20 品目（2 年度）→25 品目以上（3 年度）</p> <p>⑩⑩ 学校給食における和食給食の実施割合（※1） ：年間 59.1%（元年度）→ 年間 59.7%（2 年度）→年間 60%以上（3 年度）</p> <p>東京オリンピック・パラリンピック給食の実施（※2） ：年間 5 回（元年度）→年間 6 回（2 年度）→年間 7 回（3 年度）</p> </div> <p>※1 学校給食における和食給食の実施割合 主菜が、素材の味を大切にし、だし（煮干し、昆布、鰹節）、しょうゆ、みそをベースとして味付けを行ったもの。 (和食献立率（%）＝主菜が和食である給食日数/年間給食日数×100)</p> <p>※2 東京オリンピック・パラリンピック給食 東京オリンピック・パラリンピックの開催を記念して、令和元年度から実施している。</p> <p>(実施予定) 令和 3 年 4 月 ギリシャ料理 ケフテス（ミンチの料理） 5 月 フランス料理 鮭（サケ）のムニエル風 7 月 スロベニア料理 リュブリャナ風シュニツツエル等 （マッシュポテトをハムで挟んだカツ） 9 月、10 月、12 月、1 月は未定</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p>  <p>12 つくる責任 つかう責任</p> 

行動目標	SDGs 指標
<p><b>12 学校給食施設の充実</b></p> <p>子どもたちに安全・安心でおいしい学校給食を将来に渡って安定的に提供していくため、新たな学校給食センターを整備します。新学校給食センターでは、ドライシステム（※1）の導入や衛生区分の明確化により、徹底した衛生管理を行います。また、食物アレルギー専用調理室を設置し、食物アレルギーに対応した給食を提供します。</p> <p>今年度は、新学校給食センターの整備運営を行う事業者を募集・選定し、その後、事業契約の締結を行う予定です。なお、新学校給食センター整備運営事業は、PFI方式（※2）により進めていきます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>新学校給食センター整備運営事業者の募集・選定、事業契約</p> </div> <p>※1 ドライシステム 古い厨房施設に見受けられる床が水浸しになっている方式（ウェットシステム）ではなく、床に水を流さずに乾いた状態で調理や洗浄を行う方式。高温多湿による細菌やカビの繁殖を抑制し、跳ね水による二次汚染を防ぐことができる。</p> <p>※2 PFI方式 公共施設等の整備・運営を行うにあたり、設計・建設から、その後の維持管理、運営までの業務を、長期間にわたり一括して民間事業者に委ねる事業手法 民間事業者が持つ経営能力や技術的能力などを活用し、従来手法（公共工事）に比べて、少ない財政負担でより良い住民サービスを提供することを目指す。</p>	 

行動目標	SDGs 指標
<p><b>13 中学校運動部活動の充実</b></p> <p>高度な指導力を持つ地域の指導者を外部の専門指導者として活用するとともに、福井国体出場選手や県内実業団クラブチームの選手等のトップアスリートによる実技講習会を開催し、中学校運動部活動や体育授業の充実を図ります。</p> <p>学校においては、「福井市中学校における部活動の方針」(※)に基づき、決められた活動時間内で合理的かつ効率的・効果的な指導を推進するための教職員対象の研修会を実施します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>⑩ 109 トップアスリート（国体出場選手）や一流指導者による実技指導の回数：2回 最新トレーニングに関する研修会（教職員対象）の実施：1回</p> </div> <p>※ 福井市中学校における部活動の方針 スポーツ庁が平成30年3月に「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を、文化庁が平成30年12月に「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を、福井県教育委員会が平成31年2月に「部活動の在り方に関する方針」を公表。 本市教育委員会では、平成31年3月に生徒にとって一層有意義な活動にするための指針として、部活動の意義・目的や休養日、活動時間等を規定した「福井市中学校における部活動の方針」を策定した。</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 20px;">  <p>3 すべての人に健康と福祉を</p> </div> <div>  <p>4 質の高い教育をみんなに</p> </div> </div>

組織目標Ⅲ 家庭や地域、関係機関・団体と連携し、青少年の健全育成を進めます

行動目標	SDGs 指標						
<p><b>1 4 放課後児童クラブの整備</b></p> <p>共働き家庭や核家族が増加している中、放課後留守家庭児童を健全に育成するため、安全な生活の場と適切な遊びを提供し、保護者が安心して仕事に専念できる環境を整えます。</p> <p>また、放課後児童クラブの利用希望者が増加していることから、第2期子ども・子育て支援事業計画に基づき、小学校の余裕教室や市有施設等を活用した放課後児童クラブの整備と既存施設の老朽化対策等を進めます。</p> <p>さらに、放課後児童クラブの持続的な運営と質の高い児童への支援を確保するため、職員の資質向上や課題解消に向けた対策に取り組みます。</p> <table border="1" data-bbox="145 763 1197 842"> <tr> <td>総44 放課後留守家庭児童の受入</td> <td>:</td> <td>100% (※)</td> </tr> </table> <p>※ 受入率（入会者数／入会条件を充たしている希望者数）</p>	総44 放課後留守家庭児童の受入	:	100% (※)	 			
総44 放課後留守家庭児童の受入	:	100% (※)					
<p><b>1 5 家庭や地域の教育力の向上</b></p> <p>P T Aと連携し、地域教育力活性化事業（※）を行うなど、青少年の健全育成に向けた地域の教育力を高めるための取組を支援します。</p> <p>また、親子の成長や学びを支えるため、親などを対象とした「家庭教育事業」をすべての公民館で実施します。</p> <table border="1" data-bbox="145 1216 1197 1317"> <tr> <td>地域教育力活性化事業の実施</td> <td>:</td> <td>全5ブロック</td> </tr> <tr> <td>家庭教育事業の実施</td> <td>:</td> <td>全公民館（一光公民館を除く）</td> </tr> </table> <p>※ 地域教育力活性化事業</p> <p>地域社会における教育力の活性化を図るため、P T Aが中核となって行う家庭、学校及び地域の結びつきを深める事業</p> <p>小中学校 71 校（福大附属、福井工大附属含む）の各单位P T Aを5つのブロック（エリア）に分け、それぞれのブロック単位で当該事業を実施</p> <p>&lt;事業例&gt; 講演会、ふれあいコンサート、指導者研修会 など</p>	地域教育力活性化事業の実施	:	全5ブロック	家庭教育事業の実施	:	全公民館（一光公民館を除く）	 
地域教育力活性化事業の実施	:	全5ブロック					
家庭教育事業の実施	:	全公民館（一光公民館を除く）					

行動目標	SDGs 指標
<p><b>16 家族ふれあいの推進とインターネットの適正利用</b></p> <p>青少年の健全育成のため、家族のふれあいやコミュニケーションの大切さを呼びかけ、明るい家庭づくりを推進します。</p> <p>また、生活習慣の乱れや犯罪被害を防止するため、インターネットの適正利用にかかる啓発活動を行います。併せて、4月から新たにネットパトロール（※）にも取り組みます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「家族ふれあい」絵手紙コンクール優秀作品展示 ：4回（元年度）→ 4回（2年度）→ 5回（3年度）</p> </div> <p>※ 「ネットパトロール」 インターネット上をいくつかのキーワードで検索し、SNSに投稿されたいじめや誹謗中傷、個人情報の流出等、犯罪被害やトラブルにつながる有害な情報を見つけ出すこと。</p>	 
<p><b>17 地域における青少年の健全育成の推進</b></p> <p>地域ぐるみで子どもの安全を守るために、青少年育成福井市民会議の各支部が実施している見守り活動や危険箇所点検を支援します。</p> <p>また、市民会議の活動をより多くの人に知ってもらうために、「市民会議だより」の各戸回覧やホームページの充実を図ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>地域における見守り・危険箇所点検などの青少年健全育成活動 ：48支部（元年度）→ 48支部（2年度）→ 48支部（3年度）</p> <p>ホームページにおける青少年育成福井市民会議活動の発信 ：1回（元年度）→ 2回（2年度）→ 12回以上（3年度）</p> </div>	 

組織目標Ⅳ 安全で快適な学習環境を整えるために、施設の整備・改修を進めます。

行動目標	SDGs 指標						
<p><b>18 学校体育館の防災機能強化</b>                      拠点避難所である小学校体育館の安全性を確保するため、窓ガラスに飛散防止フィルムを貼り落下防止対策を講じます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">窓ガラス飛散防止対策事業</p> <p>①113 飛散防止対策実施率(※)                          : 74.5% (元年度) → 84.3% (2年度) → 100% (3年度)</p> </div> <p>※ 飛散防止対策実施率 (対策済校数/拠点避難所に指定されている小学校数)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">令和元年度実績</td> <td>38校/51校≒74.5%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度実績</td> <td>43校/51校≒84.3%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度目標</td> <td>51校/51校=100%</td> </tr> </table>	令和元年度実績	38校/51校≒74.5%	令和2年度実績	43校/51校≒84.3%	令和3年度目標	51校/51校=100%	<div style="text-align: center;">  <p>4 質の高い教育を みんなに</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>11 住み続けられる まちづくりを</p> </div>
令和元年度実績	38校/51校≒74.5%						
令和2年度実績	43校/51校≒84.3%						
令和3年度目標	51校/51校=100%						
<p><b>19 学校生活環境の整備</b>                      子どもたちが安心して学び、快適に学校生活を送ることができるよう、トイレの洋式化(※)等の環境整備を進めるとともに、児童生徒数が急増している森田地区において学校規模の適正化を図るための基本計画を策定するとともに、スピード感を持って整備に向けた準備に取り組みます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">学校生活環境整備事業</p> <p>トイレ洋式化整備校数 : 11校                          福井市北部地域学校規模適正化基本計画策定 : 3月末</p> </div> <p>※ トイレの洋式化</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">令和元年度実績</td> <td>34校/71校≒47.9%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度実績</td> <td>70校/70校=100%</td> </tr> </table> <p>令和元年度実績→令和2年度実績の校数の減(71校→70校)は、鶯東部幼稚園が休園となったことによるもの。</p> <p>これまでは各学校において便器の総数のうち半数以上を洋式便器にすることを目標に整備を進めており、令和3年度で目標達成の予定を1年前倒しして達成することができた。</p> <p>しかし、児童・生徒数が多い学校では引き続き洋式トイレが不足しているため、更に今年度は11校で洋式の割合を高めるための工事を実施する。</p>	令和元年度実績	34校/71校≒47.9%	令和2年度実績	70校/70校=100%	<div style="text-align: center;">  <p>4 質の高い教育を みんなに</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>11 住み続けられる まちづくりを</p> </div>		
令和元年度実績	34校/71校≒47.9%						
令和2年度実績	70校/70校=100%						





行動目標	SDGs 指標
<p><b>24 図書館サービスの拡充</b></p> <p>快適な読書環境の提供に努めるほか、来館が難しい方に向けた移動図書館車の巡回サービスや郵送貸出制度の周知を図り、図書館の利用を促進します。</p> <p>また、利用者アンケートなど、あらゆる機会を捉えて利用者のニーズを把握し、その後の取組に反映することで効果的なサービスの提供に努め、利用満足度の向上を図ります。</p> <p>市立図書館はリニューアル事業基本計画に基づき、基本・実施設計を行います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>④116 図書館利用者数        : 731,189人(元年度) → 498,401人(2年度) → 743,700人(3年度)</p> <p>市民1人当たりの貸出冊数        : 4.6冊(元年度) → 3.9冊(2年度) → 4.6冊(3年度)</p> <p>図書館利用満足度(※)        : 89.1%(元年度) → 88.6%(2年度) → 89.2%(3年度)</p> <p>市立図書館リニューアル事業 基本・実施設計:2月完了</p> </div> <p>※ 図書館利用満足度        福井市図書館アンケートに占める満足度の割合</p>	<p>4 目の新しい教育をみんなに</p> 

組織目標VI 生涯スポーツを推進し、市民の豊かなスポーツライフを支援します

行動目標	SDGs 指標
<p><b>25 体育施設の整備</b></p> <p>市民が安全で気軽にスポーツを楽しむことができるよう、体育施設の維持管理に努めます。</p> <p>スポーツ環境の改善を図るため、既存施設の改修を進めるとともに、競技人口の推移や社会状況の変化に対応した機能集約や用途変更など、ニーズに応じた施設整備を行っていきます。</p> <p>また、市スポーツ公園サッカー場にフットボールセンターを整備するために、基本設計及び実施設計を行います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>市体育施設利用者数            : 1,068,095 人 (元年度) → 670,000 人 (2年度見込) → 700,000 人 (3年度)</p> <p>体育施設のLED化 : 市体育館メインアリーナ照明設備のLED化            成和グラウンド 照明付帯鉄塔撤去</p> <p>フットボールセンター整備事業: 基本設計 8月完了、実施設計 3月完了</p> </div>	
<p><b>26 スポーツを楽しむ環境づくり</b></p> <p>スポーツ教室やファミリーミニマラソン大会を開催するなど、運動やスポーツの楽しさを体感できる活動の充実に努めるとともに、北陸新幹線福井・敦賀開業後に開催されるフルマラソン大会に向けて、県、近隣市町、関係団体で構成する準備委員会を設立し、コースや大会の運営方法等の検討を進めます。</p> <p>今年度開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会に伴う事前キャンプの受入れや聖火イベント及び全国高等学校総合体育大会（インターハイ）を行います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>スポーツ教室の参加延べ人数            : 4,470 人 (元年度) → 1,854 人 (2年度) → 3,200 人 (3年度)</p> <p>※元年度は春・秋開催、2年度は秋のみ開催</p> <p>フルマラソンの開催に向けた実施計画書の策定 : 策定期間 3月</p> </div>	

組織目標Ⅶ 文化遺産を保存し継承するとともに、文化財の公開と活用を進めます

行動目標	SDGs 指標
<p><b>27 文化財の保存・継承</b></p> <p>郷土の貴重な文化財や歴史資源を適切に保存し、未来に継承するため、大安寺等指定文化財の保存修理や無形民俗文化財の後継者育成等の取組に支援します。</p> <p>また、福井駅前市街地再開発事業等（※）に伴う発掘調査を行い、埋蔵文化財の保護に努めるとともに、福井城址や笏谷石などの福井固有の豊かな歴史や文化への理解を深めます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>総 103 無形民俗文化財各種行事開催件数            : 8 件（元年度） → 1 件（2 年度） → 7 件（3 年度）</p> <p>埋蔵文化財発掘調査に伴う見学会 : 2 回</p> </div> <p>※ 埋蔵文化財発掘調査</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 福井駅前電車通り北地区A街区市街地再開発事業に伴う発掘調査 再開発ビル建設予定地のうち約 990 m<sup>2</sup>を対象に行う福井城跡の発掘調査。</li> <li>2 河増工業団地土地区画整理事業（仮称）に伴う発掘調査 河増町で計画している区画整理予定地のうち約 11,600 m<sup>2</sup>を対象に行う河増遺跡の発掘調査。</li> </ol>	 
<p><b>28 文化財の公開と活用</b></p> <p>地域の歴史・文化に誇りを持ち、さらに理解を深めるため、文化財を身近に感じることができる展示や、昔の暮らしが体験できる学習会の開催など、文化財の公開と活用に取り組むとともに、施設の魅力を高め、利用促進を図ります。</p> <p>また、国選定された重要文化的景観「越前海岸の水仙畑 下岬の文化的景観」の保全に努めるとともに越前海岸の魅力発信に取り組みます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>文化財保護センター及びおさごえ民家園利用者数            : 15,544 人（元年度） → 11,491 人（2 年度） → 12,000 人（3 年度）</p> <p>体験学習会参加者数            : 3,103 人（元年度） → 1,553 人（2 年度） → 2,000 人（3 年度）</p> <p>越前水仙ガイドマップの作成 : 12 月末</p> </div>	 

